

感染者数が全国的に拡大傾向を示し死亡者も増え続けています。組合の取り組みや会議は慎重に開催の可否を検討しますので、事前に支部にお問い合わせください。



第493号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
高橋 勇一

実増に向けて もうひとがんばり 皆さんの力をもう少し貸してください

秋の拡大月間のご奮闘、皆さん大変お疲れさまでした。仲間を増やす月間が終わったばかりではありませんが、支部の最終目標は1月現勢を1人でも超過して新年を迎えること。月間の加入に間に合わなかった対象者や新型コロナウイルスの影響で困っている未加入者に改めて声をかけて加入につなげる「年末拡大」に、もう少しだけ力を貸してください。各分会が1月現勢を上回るようにもうひとふんばりが必要です。新型コロナウイルスの影響で現場が止まっている、工事代金が貰えないなどの相談で組合に対する期待が高まっています。ぜひ未加入の仲間へ声をかけて加入を勧めましょう。

2020年1月との現勢比較

	国①	国②	国③	国④	国西
2020年1月	129	71	80	96	62
2020年12月	129	66	80	93	61
増減	0	-5	0	-3	-1
	小①	前原	小西	東小	直・事
2020年1月	81	140	68	93	443
2020年12月	84	135	67	105	421
増減	3	-5	-1	12	-22

南雲貞雄さんが国分寺技能功労を受賞

国分寺市からの依頼により支部から毎年推薦している「技能功労」の表彰式が

11月3日に行なわれ、南雲貞雄さん(国③)が見事に技能功労表彰を受けられま



表彰状を手にする南雲さん

した。南雲さんは新潟県十日町生まれ。地元の宮大工のもとで4年余り修業をして上京。東京・高円寺で「南雲工務店」を開業しました。1972年には(有)新興建設を設立し代表に就任。活躍の場を広げるとともに大工職人として数々の現場作業に従事し、後進の育成にも尽力してきました。2014年に(有)ナグモ建築工房の取締役に就任し、現場の第

一線から退いた後も技術指導や後進からの相談などに力を発揮し、日々元気に活躍されています。11月3日の表彰式は諸般の都合により欠席されましたが、11月12日に井澤国分寺市長自らが自宅を訪問し表彰状と記念品を授与されました。新型コロナウイルスで大変な状況は続きますが、今後も体調に留意しながら、更なるご活躍をお祈りします。

武蔵野税民協学習会はサスペンス映画さながら

マイナンバーカードの普及は監視と差別の社会に繋がる!?



信じられないような話に参加者もビックリ

武蔵野税民協学習会を11月27日の金曜日、武蔵野芸能劇場で開催し全体で19人、支部からは7人が参加しました。菅政権の肝いり政策のひとつである「デジタル庁」の創設。遅々として進まないマイナンバーカードの普及もデジタル化の一連の流れに含まれていますが、個人情報流出が危惧されます。今回の学習会では、しんぶん赤旗経済部の杉本恒如さんを講師に、デジタル化の危険性について、豊富な取材経験に基づく話を聞きました。

デジタル化が進むと個人情報流出が懸念されますがそれだけでは済みません。インターネットやスマホの利用履歴などの膨大な個人情報も蓄積され、居住地・勤め先・出かけ先・購買力・滞納の有無・生活習慣・趣味・思想・家族・友人・交際相手などが企業や国家に掌握される超監視社会が始まります。また大量監視に基づいて根拠不明の差別(排除・弾圧・殺害)などが始まる超差別社会が出現するという非常に恐ろしい話が聞きました。「そんな非現実的なこと」と思うなかれ。就職情報サイト「リクナビ」を運営するリクルートキャリアが、人工知能で予測した就活中の学生の情報を無断で企業側に販売しており、就職差別につながっていた可能性が指摘されました。また、携帯電話の位置情報システムの一部は、今でも個別に設定しないと解除されないようになっているそうです。アメリカのNSAが使用しているエックスキースコアという個人情報分析システムはすでに日本にも提供されているとのこと。日本経団連は、保険証や免許証などの機能を果たす予定のマイナンバーカードの情報を医療・教育・雇用などに流用する仕組みづくりを進めています。日本の情報管理は諸外国よりも甘い感じがします。今でさえ個人情報流出が頻繁にニュースになっているのに、もっと重要な個人情報もマイナンバーカードで管理して大丈夫でしょうか。



新型コロナウイルス感染症のパンデミックが私たちの暮らしや仕事に大きな影響を及ぼし、収束の目途が立たない状況に不安感が増している▼感染者数が増えているなか始まった「GoToキャンペーン」が6月末まで延長。11月中旬から全国で感染が広がりが「第3波襲来」と言われ東京でも感染者数が5000人を超える日が多い。そんななか、大阪・札幌に続き東京もGoToトラベルから除外するかが焦点となっていたが、結果は「65歳以上の高齢者と基礎疾患を持つ人」の自粛要請に留まった。菅首相と小池都知事の会談に価値はない!▼今年の流行語大賞が決まった。大賞は「3密」が選ばれたほかコロナ関連ワードが4つ。個人的には「鬼滅の刃」と「フワちゃん」が選ばれば良かったな▼映画「鬼滅の刃」の興行収入がアナ雪を超えて歴代2位に浮上。娘と見たが映像や音響もさることながらストーリーにすごく感動。単行本が発売されているので結末を知っている人も多いと思うが、私は単行本を読まずに映画を観たのでとても新鮮だった。宣伝過多や内容で評価が分かれているようだが私は高評価。映画館でも一度観たいと思った。グッズも人気で異常な高値で販売されている。違法なものもあるようなので、皆さんお気を付けください。

立川税民協で立川税研集会を開催

アベもダメだったけどスガもダメ！消費税減税でコロナ禍を乗り切ろう



経済対策はやっぱり消費税減税しかないと再確認

立川税民協では11月26日午後7時から、たましんR I SURUホール第1会議室で立川税研集会を開催しました。全体の参加は33人、支部からの参加は8人でした。新型コロナウイルスの感染拡大が全く収束しないなか、税制はどうあるべきかについて、参議院議員の大門実紀史さんを講師に迎え、安倍政権の継承を進める菅政権と対峙する立場から見ると、国会情勢を含めた話しを聞きました。大門議員は、依然として決着しない日本学術会議の任命拒否問題をはじめ、大きな論争となっている「桜を見る会」における菅官房長官（当時）の立場などから菅政権の危険性を指摘しました。また、菅政権が標榜する自助優先の考えは公的責任を放棄し、未だかつてない苦痛を強いられている国民に対して、自己責任を押し付ける政治になっていると厳しく批判しました。そのうえでいま重要なのは、一部の業界や握りの企業に利益をもたらす対策ではなく、新自由主義をコントロールし、人を路頭に迷わせない、中小企業を潰さない政策を打ち出すことだとして消費税減税の必要性に言及しました。現政権は消費税減税に難色を示しているため、今後の野党共闘でも消費税減税が大きな課題の一つになるという話もありました。最後に立川税民協の今後の行動提起があり閉会しました。

新型コロナの感染拡大に負けず

支部仲間の作品展を開催



暗い雰囲気吹き飛ばす企画になりました

【厚生文化部発】厚生文化部の恒例の取り組みとなっている「支部仲間の作品展」を11月29日(日)から12月4日(金)までの期間、組合事務所3階で開催しました。今年後は後継者対策部主催のもちつきが中止となりましたが、日曜日に開催した市民向けの包丁研ぎの日程に合わせて、いつもより開催時期を少しだけ前倒しして行ないました。日曜の観覧日には、包丁研ぎに参加した仲間のほか、来場した市民にも観覧してもらえようにしました。昨年の反省に基づき、仲間の作品展の開催告知を7月から行ない、前年の出展者にも参加をお願いする手紙を個別に送るなどの対策を取りましたが、出展者数・出展作品・観覧者ともに振るわず、ここにも新型コロナウイルスの影響が出ているように感じました。今

回の出展作品では、特に油絵や水彩画などの絵画が多かった反面、木工細工や手芸作品などが少なくなりました。来場者からは「コロナ禍で暗い話題が続くなか、お祭りの写真や田園風景の絵で心を癒された」との感想が寄せられました。次回こそはコロナ禍が過ぎたなかで、多くの仲間が参加できる仲間の作品展を開催したいと思ひます。皆さん奮っての出展をお願いします。

年が明けるとあっという間

そろそろ確定申告のご準備を

個人事業の確定申告は1月から12月までの売上と経費をまとめることから始まります。毎月、帳簿の整理を行なうのが理想的ですが、なかなか日々の記帳は難しいもの。しかし、年が明けるとあっという間に確定申告の時期が来ます。次の申告時期に新型コロナウイルスの影響がどうなるかわかりません。出来るだけ早めに帳簿の整理を始めましょう。帳簿がまとまったら組合の申告相談会へ。予約制となりますので事前に予約をお願いします。

【申告相談日程】

2月／9日・10日・16日・18日・24日・25日
3月／4日・9日・10日

最近のニュースや情報番組ってどうよ… あのTVニュース変じゃねえ？



【東小分会・朝倉法明記】12月は政党助成金の請求月。支持や期待もしていない政党に現金が振り込まれるこの制度、変じゃないですか？ なんと交付額は総額で約318億円。財源は、乳幼児から高齢者までの国民1人あたり250円の負担。これを各政党が議員の数で分配して党運営の資金に充てています。政党助成金の報道は、請求月（4月・7月・10月・12月）にちょっとだけ流されます。しかしその余ったお金を貯金している報道はあり

ません。全政党を合わせると207億円のため込みです。もう一つは憲法違反（思想、信条の自由）なのに、輪をかけて、貯金はチャラチャラおかしい話です。許せません！

12月は4回目の請求月。政党助成金の使途は制限してはならないと規定されているため、議員のボーナスに当ててもOKですから、変な税金の使い方ですね？ やめさせましょう。

ひとりひとりが話題にして政治を動かす世論を作りましょう。

（追記）日本共産党だけは政党助成金をもらっていません。この制度は、憲法19条「思想及び良心の自由」を根本的に踏みにじり、憲法21条「結社の自由」の侵害をもたらすという重大な問題があるからです！

包丁研ぎサービスデーは大盛況

新型コロナウイルスの影響で今年の住宅デーは中止となりましたが、市民向けのサービスとして取り組んだ包丁研ぎは、予想以上に来場者が多くなり受付の列ができるほど盛況でした。

11月29日の日曜日、組合事務所で午前10時から受け付けを開始。各地域の住宅デーの来場者には、事前にお知らせを送り、国分寺市内だけでなく小金井や小平からも来場者がありました。午前中の受付で60人・110本の



包丁を研ぎ、住宅相談も3件ありました。この間も住宅デーの開催や次の包丁研ぎの日程などの問い合わせが来ていますので、やっぱり市民は東京土建の住宅デーを楽しみに待ち望んでいることが再確認できる取り組みとなりました。